

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO

2

February 2018
No.780



妙高はねうまカレッジ「まなびの杜」(歴史文化コース)

「世界かんがい施設遺産上江用水を巡る」(妙高市)

先人がどのような思いで用水路造りを進めたのか思いをはせました。

4~5

特集

長澤成次講演 社会教育関係者元気アップ交流集会にて

CONTENTS

- | | | |
|---|------------------|---|
| 2 | トピックス | 「全国公民館研究集会東京大会」の開催 |
| 3 | 視点
ひろば
掲示板 | 「インターネット公民館」 新潟市中央公民館 館長 五十嵐政人
「充実した人生を創造する公民館」 阿賀野市京ヶ瀬公民館 主幹 野崎アユミ
「関東甲信越静公民館連絡協議会公民館第3回理事会開催」 |
| 6 | 実践記録シリーズ | 「かしわざき市民大学」～企画運営委員の学びへの想い～ 柏崎公民館 |
| 7 | サークル交流
素顔拝見 | 「カポエイラの魅力」(新潟市) / 「健康で明るい家庭は食事から」(弥彦村)
外山 縁さん(魚沼市) / 岡村 純子さん(長岡市) |
| 8 | お元気ですか
恵贈資料紹介 | 「公民館とのかかわり」 佐渡市・白川 彰三さん |

▼ TOPICS

「全国公民館研究集会東京大会」の開催

関東申信越静ブロックと全国大会（公民館研究集会）の開催は、平成28年度から各ブロック大会が全国大会を兼ねる新方式になっています。また、7年に1回は首都圏大会（全六公連主催）が開催されることになっています。来年度は新方式初の首都圏大会です。開催順は次のとおりです。

この新方式により、来年度は首都圏大会が開催されます。

- 1 期日 平成30年11月1日（木・2日金）
- 2 会場 日本青年館（東京メトロ銀座線 外苑前駅 徒歩5分）
- 3 主催 公益社団法人 全国公民館連合会
- 4 後援 文部科学省（予定）、全国公民館振興市町村連盟、社会教育団体振興協議会

年度区分	関ブロ・全国大会	備 考
平成29年度	群馬県	全国大会を兼ねる
平成30年度	首都圏大会	関ブロは首都圏大会に参加
平成31年度	栃木県	全国大会を兼ねる
平成32年度	千葉県	//
平成33年度	山梨県	//
平成34年度	静岡県	//
平成35年度	茨城県	//
平成36年度	長野県	//
平成37年度	首都圏大会	関ブロは首都圏大会参加
平成38年度	新潟県大会	全国大会を兼ねる



日本青年館



メインホール

- 5 大会テーマ 「公民館がひろく 日本の未来」 ～地域性・個性を生かした新しい公民館活動を！～
- 6 内容

＜11月1日（木）特別講演＞
池上 彰（13:00～14:00）
シンポジウム 14:00～17:00
司 会 村松真貴子
登壇者 池上 彰
牧野 篤
（東京大学）

- 8 吉田 博彦
（NPO法人教育支援協会）
文部科学省など
優れた実践発表（広島県大竹市玖波公民館など）
情報交換会 18:00～19:30
＊各都道府県会長・副会長・事務局長・その他
（11月2日金）
第71回優良公民館優秀館プレゼンテーション大会
優良公民館・社会教育功労者・全六公連合同表彰式（10:00～12:30）
昼食
国歌斉唱、公民館の歌斉唱、各種表彰、記念撮影（13:30～14:30）
解散（15:00）
参加費 3,000円
（情報交換会は別途5,000円、弁当代1,000円）
参加申し込み
平成30年6月から申し込み開始予定。詳細は後日連絡します。
- 7

「新潟県公民館月報」 毎月 15 日発行
いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円（いずれも送料含む）

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711



「充実した人生を 創造する公民館」

阿賀野市京ヶ瀬公民館
主幹 野崎アユミ



阿賀野市には、中央公民館である笹神、水原、安田、京ヶ瀬の4つの公民館があります。合併前には其々2〜3人ずつ担当者がいましたが、現在は職員が1人で公民館事業を行っています。1人と言うことは、当然市民との協働が事業運営の鍵となってきます。文化祭(作品展)、芸能発表会も1人なわけですから。

京ヶ瀬公民館は、文化祭、芸能祭を市民の実行委員会運営しています。パネルの設営は、団体と一般作品の出版者にも声をかけ、毎年40人もの人達で段取り良くスピーディーに行っていますし、実行委員が交替で当番を行い、来場者数を記録したり、展示作品に異常がないか、館内パトロールを実施しています。芸能祭の会場準備も各団体から2名ずつ参加して、やはり40名程で手際良く行ってくださり、司会も実行委員が務めています。みなさん、自分が担当する役割をいざいざと楽しく全うしています。実行委員会の方がアイデアを出したり、直接学校やこども園、児童クラブへお願いに行ってくださったりして、こども園、児童クラブ、小中学校とも連携して、文化祭

芸能祭を盛り上げています。その他に、地域で自主的に分館活動を行っている駒林・五郎巻地区分館は、地域の人達で落語の寄席、作品展、伝統芸能発表会も開催しています。また、京ヶ瀬地区には、3つの防犯の会があり、盆踊り大会や、ドッジボール大会も防犯の会の方達が中心となって行っています。京ヶ瀬地区の健全育成事業は、防犯の会が担っています。担当する職員は、たった1人ですが、京ヶ瀬公民館は、京ヶ瀬地区の市民の皆さんの充実した人生を創造する砦となっています。

視点



新潟市中央公民館
館長 五十嵐政人

「インターネット公民館」

そこは、誰が来てもいいし、何をしてもいい。カギはない。規則もない。使用料もいらない。そこで、何が起きているかと言え、朝の連続テレビドラマのように、いろいろな人がやってきて、困っても、悩んでも、独りでも、何とかなっている。そこは『公民館』ではなくて『インターネット(ネット)』という。

公民館を描いた一枚の絵がある。そこには、民主的社會教育機関です、村の茶の間です、親睦交流を深める施設です、産業振興の原動力です、民主主義の訓練場です、文化交流の場です、郷土振興の機関です、と書かれている。戦後間もない時代である。これ、今のネットにもあてはまる。

そのころ、『青空公民館』という言葉があった。新潟県では、公民館を普及させるために、公民館という看板をいろいろな施設に付けたという。青空も看板も、施設ではなく、目的や活動を意味している。みんなで新しい時代、社会を築こう、ということである。

いまの時代、社会、人は何を求めているのか。「コミュニケーション」であろう。地域、学校、会社、組合、団体、グループなどつながりが弱まり、そのかわりをネットが務め、世界を結んでいる。実際に政治、産業、文化、交流、等々に与える影響は大きい。つながりを最も得意としているのはネットである。

かつての公民館はネットにすげ替えられるのである。「インターネット公民館」か。では、ネットでできないことはないのか。ある。それは何か。

掲示板 HOT NEWS

関東甲信越静公民館連絡協議会公民館第3回理事会開催

期 日 平成30年2月2日(金)
時 間 13:30 ~ 16:30
会 場 前橋市中央公民館504学習室
内 容 (1)平成29年度関プロの事業報告及び決算について
(2)監査報告
(3)第40回全国公民館研究集会東京大会について
(4)平成30年度役員(案)について
(5)関プロ地区代表(全公連)候補者の推薦について

(6)その他
出席者 笹川会長 田原事務局長

<第29回全国公民館セミナーの参加者決定>

平成30年1月31日(水)~2月2日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われる参加者が次のとおり決定しました。
小柴明衣子(新発田市) 渡辺真司(上越市) 渡邊善則(小千谷市)
前澤優子(新潟市) 杉山茂一(新潟市) 広瀬松司(事務局)

特集

長澤成次講演

(平成29年11月25日土) 県生涯学習協会主催・
社会教育関係者元気アップ交流集会にて



長澤 成次 千葉大学名誉教授

1951年東京都北区生まれ
日本社会教育学会 会長
社会教育・生涯学習ハンド
ブック第9版2017、9月発行
など著書多数

社会教育研究や実践の第1人者として知られ、社会教育学会の会長でもある長澤成次氏が、新潟県生涯学習協会主催の「社会教育元気アップ交流集会」に講師として招かれました。11月25日(土)に柏崎市「山崎邸」で行われた講演内容の様子と講演要旨を紹介し
ます。

会場の「山崎邸」は氏の奥様の生家で、千葉大学の学生さんたちがときどき合宿をされるので研修所として改修された快適な会場でした。この集会には長澤氏の呼びかけで全国から著名な方々が参加をしました。主な方々は山本健慈氏(元和歌山大学長)、上田幸夫氏(日体大教授)、川野佐一郎氏(早稲田大学講師)、越村泰英氏(千葉大非常勤講師)、他県外参加者3名、県内参加者19名、計26名の参加でした。

講演テーマは「キラリと光る！地域をつくる社会教育実践」で、約90分間の講演でした。講師の歯切れがよく鋭い指摘をまじえたお話に参加者が熱心に聞き入りました。

1 はじめに 歴史と現状

憲法施行70年、教育基本法70年と話題になるが、公民館は文部次官通牒(寺中作雄構想)で設置されてから71年の歴史がある。NHKの「首都圏ネットワーク」で「公民館と憲法」が2017年5月に放送された。

公民館を取り巻く現状は、九条俳句訴訟(埼玉県)、公共施設等総合管理計画、文部科学省組織改編などがある。特に文科省の組織改編は生涯学習局、社会教育課の廃止を含んでおり大きく問題化している。

新潟県の公民館は、戦後、全国に先駆ける公民館設置やその後の活動に大きな実績があり全国的に注目されている。



熱い口調で身を乗り出して講演(正面:長澤成次講師)

2 公民館構想の原点

(1) 1946年12月発行の寺中作雄「公民館の建設」では、国民主権の憲法、地方分権の重要性が指摘されている。現在の課題をこの時に指摘している。

(2) 1946年7月の文部次官通牒「公民館の設置運営」では、住民が集まり学習し、生活産業の指導を受け住民同士が交友を深める場所である。それは学校、図書館、博物館、公会堂、集会場、産業指導所などの機能を兼ねた文化教養機関である。それは、各文化団体の本部ともなり、それぞれが連携して町村振興の底力を生み出す場所である。また、町村民の自主的な要望と努力によって設置され、創意と財力により維持されることが理想である…。

これを整理すると、

① 公民館は町村民が集まって教え合い導き合い互いの教養文化を高める民主的な教育機関である。

② 町村自治向上の基礎となるべき社交機関である。

③ 郷土産業活動を担い興す原動力となる機関である。

④ 民主的な訓練の実習場である。

⑤ 中央の文化と地方の文化が交流接する場である。

3

全国各地の実践から学ぶ

(1)岡山市立公民館プレ大会

2017年2月実施。5分科会の実践は成果あり。

〈第1分科会 防災・減災〉

2016年6月の別府、熊本調査を例にして、災害時に果たす公民館の役割の再確認・



顔を突き合わせて意見交換

⑥青年層こそ新日本建設の推進力となるべきものである。

⑦郷土振興の基礎をつくる機関である。

(3)公民館の維持・運営
「公民館事業の運営は公民館運営委員会が主体となっていくこと。公民館委員会の委員は町村議会の選挙の方法に準じ全町村民の選挙によって選出するのを原則とすること。」

このことから、公民館は住民が主人公であるという考え方を発足当初から持っていたということである。

4

まとめ

「学びを通して自治の力を育み、地域の未来をつくる公民館に働く職員の課題」

(1)地域に暮らす人々の思いや願いを大切にしたい。生活を語り合える職員が求められる。

(2)地域課題・生活課題の学習課題化。住民との学び合い(＝共同学習)のプロセスこそ重要です。

学校との連携

自治公民館など住民に身近な公民館が果たす役割

ウ 地域的人間関係の蓄積の持つ力は大きい

エ 公民館に市の正規職員が配置され、教育委員会のもとで連携できる体制が必要

〈第2分科会 地域福祉(高齢者)〉

〈第3分科会 地域資源を生かしたまちづくり〉

〈第4分科会 地域の子育て支援〉

〈第5分科会 青少年の活躍の場づくり〉

(2)西東京市柳沢公民館30周年行事

2017年11月に実施。1983年3月に市長、教育委員会と柳沢公民館建設に関する覚書がなされ、市民参加で建設検討委員会が設置された。翌年から市民参加で設計段階から熱心な討議が繰り返され、1987年柳沢公民館開館。公民館の「ふれあいの歌」作詞は市民。

(3)奈良市公民館の活動

毎月、どこかで、公民館をおもしろがる「おしゃべりin公民館」が注目されている。多彩な主催講座で公民館そのものを考える事業になっている。

(4)長澤成次編著「公民館で学ぶV いま、伝えたい地域が変わる学びの力」の紹介

(3)学びこそ自治の力を生み出す原動力です。学びを軸にまちづくりを進める。

熱い語り口の90分間でした。講演のあと、実践発表が行われ、講演を含めて意見交換が夕刻まで行われました。17時から情報交換会が行われより遅くまで賑やかなおしゃべりが続きました。

(文責:田原 理)



県公連 田原 理事務局長の事例発表



千葉・君津市生涯学習文化課副課長・布施利之氏の事例発表



新潟市亀田地区公民館長 伊藤義則氏(中央)事例発表

239

かしわざき市民大学 ～企画運営委員の学びへの想い～

柏崎公民館

実践記録シリーズ

【かしわざき市民大学】

柏崎公民館では、多くの市民が幅広い知識を習得することで、学ぶ喜び・楽しみ・生きがいを見出し、地域の活力へとつながることを目的として、社会人向け生涯学習講座「かしわざき市民大学」を開講しています。講座では、地元の大学などと連携し、柏崎の歴史・文化や今日的なテーマなど、さまざまな専門的プログラムを提供しています。

【講座】

今年度のかしわざき市民大学では、柏崎市出身で俳優、声優として活躍されている堀井真吾さんを講師に迎え、「堀井真吾と楽しむ朗読教室」を開講しました。堀井さん自身が脚本・演出を手がけた「龍の子太郎（原作松谷みよ子）」を題材に、受講者はそれぞれの役柄をイメージし声で表現すること、聞き手に情感を伝えることなどに取り組みました。また、締めくくりには柏崎市民プラザを会場として、観衆の前に朗読発表会を行いました。講



堀井 真吾氏

師の朗読への熱意と受講者の学ぶ熱意が融合し一体感が生まれ、ともに学ぶ喜びを分かち合う関係が築かれたほか、自ら考え実践する「アクティブ・ラーニング」としても受講者の満足度が高い講座となりました。



朗読講座

【企画運営委員】

かしわざき市民大学では、講座の企画に企画運営委員が携わっています。この委員は、年度ごとに地元大学からの推薦と一般公募によって決定しています。企画会議では委員それぞれが講座の案を持ち寄って議論します。このようなかで、委員の学びへの想いが形となることもあります。先述の「堀井真吾と楽しむ朗読教室」の開講には、一人の委員の熱い想いが込められています。堀井さんの朗読に魅せられ、委員に応募する前から温めていた朗読講座を実現したいというその想いが周囲を動かし、巻き込みながらついには形となり、講師や受講者へと伝わったのではないのでしょうか。

【これから】

かしわざき市民大学では、20代・30代の受講者を増やすことが課題です。この課題を克服する一つの鍵は、企画運営委員が握っていると思います。委員の「想い」を大切に、その発想や熱意を原動力として、若年層を惹きつける講座の実現に取り組みたいと考えています。

(堀田)



朗読発表会 2



朗読発表会 1



カポエイラの魅力

GUTTOカポエイラ

私たちはカポエイラというブラジル発祥のスポーツを学んでいるサークルです。カポエイラとは、16世紀頃、アフリカからブラジルに連れてこられた奴隷達によって生み出されたもので、当時の奴隷達の楽しみの一つであり、また主人から身を守るための護身術でもありました。

現在では、一つの円を作りその円の中で、一対一で蹴り技や魅せ技を出し合います。そこに勝ち負けなどのジャッジはなく、周りの人たちはポルトガル語の歌と楽器で盛り上げます。

鳥屋野地区公民館では、2011年に活動を始めました。いつも温かく見守って下さる職員の方には大変感謝しています。

メンバーは小中学生が多いです。



ですが、親子で参加して下さる方もいます。楽しみながら運動神経、リズム感、ポルトガル語、協調性が身につきます。また見ているだけでもとても面白いのです。

あまりまだ知られていないカポエイラというスポーツを、少しでも新潟のみなさんに知っていただけたらと思い活動していますので、機会がありましたらぜひ見に来て下さい。

新潟市・GUTTOカポエイラ
佐藤 麗奈 記

健康で明るい

家庭は食事から

郷土料理を作る会

「健康で明るい家庭は食事から」をモットーに、昔からの日本料理などを勉強しながら傳承していこうと、村内の料理好きのメンバーが集まり、「郷土料理を作る会」として活動しています。調理師・栄養士経験者の指導を受けながら、郷土料理やバランスの良い食生活などを学ぶ料理実習を年5回〜6回行っています。

餅や団子、味噌作りやチャマキづくりなどのほか、季節毎の祭事料理や、春には山菜料理講習、秋にはキノコ汁作りなど、時には自然豊かな弥彦の地で採取した季節毎の旬の食材を使った実習を行い、楽しみながら郷土料理を学んでいます。

普段は作った料理をメンバーで食べて楽しみますが、毎年10月初旬に行われる文化芸能祭では、来場者に「五目ずし」や「弥彦のつべい」を振る舞います。多くの方から作った料理を食べてもらうことが活動の励みになっています。



弥彦村・郷土料理を作る会
鈴木 テル 記

伊米ヶ崎公民館

主事 外山 縁さん

昨年4月より当館に配属になった外山縁(とやま ゆかり)さんを紹介します。

当公民館は、伊米ヶ崎小学校校区の8集落を管内とする公民館で、敷地の隣が小学校、またデイサービス施設が公民館と併設され、グラウンドの脇に保育所があるという場所で年間を通じ、地域の中心として、人が集まる施設になっています。

公民館の仕事は子どもさんから高齢者向けの事業があり、内容も多種多様であり、地域の人たちの協力なしでは仕事になりません。

昨年までいた主事さんは当地区出身で7年間勤めていたベテランであり、そのあと公民館勤務が初めてで、地区外からの外山さんということで初めは心配でした。

しかし、その心配は無用でした。

持ち前の若さと、愛想のよさで難なく乗り切り、今では公民館の顔として、明るい笑顔で頑張っています。

今後の活躍を期待しています。

(伊米ヶ崎公民館 館長 森山喜久男 記)



素顔拝見

長岡市市民部中央公民館

臨時職員 岡村 純子さん

臨時職員の岡村純子さんをご紹介します。主な業務は公民館を利用される方々の対応、公民館主催講座の運営サポートです。毎日起こる様々な事態に、今までの経験を生かし、的確に対応しており、職員の信頼も厚いものがあります。

そんな岡村さんの特技の1つはパソコンです。EXCEL、WORDの操作はもちろん、知らない事もすぐに習得し自分ものにしてしまいます。インターネット検索では早く正確な情報を探し出し、公民館の貸館の判断に役立っております。

プライベートでは芸能ニュースから世界情勢、領土問題まで幅広い興味、関心を持っておられ、趣味は映画鑑賞。主に邦画を中心に鑑賞しつつも、洋画の鑑賞も怠らないバイタリティー溢れる映画愛好家として活動しています。そんな岡村さんの力を借りながら中央公民館の仕事が効率よくスムーズにいくように力を合わせていきたいと思っています。

(長岡市中央公民館 平井 忠栄 記)



お・元・気・で・す・か

「公民館とのかかわり」

白川 彰三

(佐渡市)



かえりみれば20代の頃、消え去ろうとしている地域の青年団をスポーツ主体として結成したのが始まりです。当時、青年大会で佐渡からバレー、柔道等各種競技にも参加していました。が、その青年団も現在は自然消滅しているようで残念に思っています。

率して三条市を会場にした下越地区大会にも参加してきました。しかし、子どもの数自体が少なく佐和田地区では平成30年度から4校あった小学校も3校になってしまいました。今は屋外で思いっきり体を動かす子どもも少なくなり寂しい次第です。

今はなくなりましたが参加していました。現在は、公民館自主講座の陶芸教室、鎌倉彫教室、パソコンクラブ、佐渡民謡等各種に参加し手先を使い、体を動かしてボケ防止を心がけている現状です。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

恵贈資料紹介

社会教育・生涯学習ハンドブック 第9版
社会教育推進全国協議会 編

このハンドブックは1979年の初版「社会教育ハンドブック」以来、改定を重ねこのたび第9版として刊行されたものです。

編集の基本方針は、21世紀前半の社会教育・生涯学習に関する理念、政策、実践の総括と展望をし、これからの社会教育・生涯学習のあり方を見通していく資料とすることにあります。

編集委員は、長澤成次、姉崎洋一、石井山竜平、小林繁の4氏で日本を代表する社会教育研究者です。

総ページは995ページにわたって社会教育関係法令から

国際動向や社会教育施設等まで網羅してあります。大きく分けて次の7編で構成されています。

- 1 貧困・格差社会に新たな希望をつなぐ社会教育・生涯学習の課題
- 2 関連法令と国際文書・条約
- 3 理念・思想・行財政
- 4 施設と社会教育関係職員
- 5 学びの主体と実践
- 6 社会教育・生涯学習をめぐる政策と現代的課題
- 7 年表

本書には、社会教育・生涯学習関連の情報がすべて収録されていて、社会教育関係者のバイブル

書として活用が期待されます。

問い合わせ

発行所(株)エイデル研究所

〒102-0007-3

千代田区九段北4-1-19

TEL: 03-32234146 41



地すべり被害を未然に防止するため取り組んでいます

協議会会員12市町では国土保全を念頭に、地すべり地域の保全と自然環境の保護及び地域振興に取り組んでいます。

そのため、地すべり防止対策事業や関連事業による農業並びに生活基盤の改善を積極的に推進しています。

新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会
会長(妙高市長) 入村 明(会員12市町)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟県市長会内)
TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135

事務局長のつぶやき

学生時代には使わなかったのに、社会人になってから毎日のように使っている言葉について、ふと、考えてみた。お世話になっております」が圧倒的。1週間で100回以上言っている気がします。いくらなんでもお世話になり

過ぎで、死ぬまでにどれだけお世話になるのだろうかと思いを巡らしながら今年も平和な一年がスタートしました。新年の抱負は妻から叱られない一年にしたい。それには「いつも大変お世話になっております。」と繰り返し言うことが肝心。(田原)